

「病院業界事情ハンドブック」2010年版（初版）に関する正誤表

頁	項目	正	誤
114	第3 病院経営に関するトピックス 4 今後の患者数推移 (3) 疾病別の将来患者数推計	疾病別に将来の患者数を推計すると、入院患者においては、 <u>すべてが平成42年まで増加し、以降減少する。外来患者においては、「呼吸器系の疾患」は平成17年以降、「消化器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」及び「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」は平成27年以降それぞれ減少傾向にある。また、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「循環器系の疾患」及び「筋骨格系及び結合組織の疾患」は平成42年まで増加し、以降減少する見込みである。</u>	疾病別に将来の患者数を推計すると、入院患者においては、 <u>「精神及び行動の障害」は平成37年まで、その他は平成42年まで増加し、以降減少する。外来患者においては、「呼吸器系の疾患」は平成17年以降、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」は平成22年以降、「消化器系の疾患」及び「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」は平成27年以降それぞれ減少傾向にある。また、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は平成32年まで、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は平成37年まで、「循環器系の疾患」は平成42年まで増加し、以降減少する見込みである。</u>
115	ア 入院患者数 イ 外来患者数	(差替え版のとおり)	